



保護者会にて

昨日の保護者会は、こちらが何かを伝えるというよりは、参加された皆さんの交流を深めていただくことが中心だったので、帰宅されたおとーさん、おかーさんから、あれこれ言われた人はあまりいないと思うが、それでも、おとーさん、おかーさん同士の情報交換の方が、我々の話よりもず～っと鋭いところをついていたりして、実はかえって色々お小言を頂戴した諸君もいるかも知れないね。ちなみに、来週の月曜日に「チャレンジ・センター」の申し込みがあることは伝えておいたし、全体会ではセンター試験の話などもあったので、そのことが話題になった人入るかも知れない。連絡したとおり、センターの問題が出来る・出来ないが問題なのではなく、センター試験というものがどんなものなのかを知ることが大切なので、時間のある人はできるだけチャレンジしてほしい。

*

さて、私が仲間入りしていたグループでは「朝なかなか起きてくれない」ということと、「スマホに時間を取られすぎているのではないか」といったことが話題になっていた。また「セーターを着ている者はおらず、全員カーディガンを着ているから、カーディガンを買ってほしい」という要求を突きつけられているという報告もあった。そう言われてみれば、確かにセーターではなく、カーディガンが着ている諸君が（「全員」かどうかは微妙だが…笑）多いね。

「朝、起きられない」というのは分からないでもない。後期になって勉強面での負荷が高まっている教科もあり、それにともなって予習・復習などが大変になっていることもあ

るだろう。しかし、日比谷の生活や新しい通学スタイルに慣れず、行事などもあってとにかく忙しかった前期に比べれば、まだ自分なりに時間を活用する余地が広がっているはずである。それにも関わらず時間管理がうまくできず、睡眠時間が確保できていないとしたら、その原因はどこにあるのかよく考えてみる必要がある。例えば、それがスマホの問題とも関連しているなら、それを断ち切る努力、例えば使う場所や時間に自分なりのルールを作るとかしないといけないだろう。

自分の生活を自分で管理する、朝も自分で起きられるようになるということは、「自立」の基本である。現代文でやっている「急須」のように、地方の医学部で一人暮らしをするようになった時には、急須磨きをしているわけにはいかないし、とすれば、その基本にあるのは、自分で自分の生活を成り立たせられることであるはずだ。このことを肝に銘じて、朝の問題は自分で解決できるようにしよう。そして、それでもダメならご家族の協力をあおぐわけだが、あおぐ以上、それなりの態度を示すべきだろう。

服装に関しては、1年生ではないが、電車の中で出会った日比谷生のスカートが短くて気になったという報告をしてくださった方もいる。もちろん、日比谷生の保護者だから日比谷生と気づいたわけだが、そうでなくても日比谷生は世間から注目されがちである現状を考えて（特に、部活の校名入りバッグを持っている諸君！）、校内ばかりでなく、校外にいる時こそ、服装や行動・態度には十分に注意してほしいものである。